

# 新幹線プレス

2021年2月25日

No.504

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 春闘・職場から闘うぞ！

### 第26回定期地本委員会開催

『ベア 6,000 円獲得！定昇 6,000 円獲得！夏季手当 3.5 ヶ月満額獲得！JR東海に働くすべての労働者の労働条件向上を目指し2021 JR総連春闘を闘おう！！』をスローガンに、第26回定期地本委員会が、コロナ感染防止のため委員会構成員、来賓は本部のみで佃区民館にて2月21日に開催されました。

議長には東京第一運輸所分会の三浦委員を選出し、議事が進められました。



冒頭、杉澤委員長が、コロナ禍の中で「JR東海の経営は、リニア建設をやめれば黒字であり、一時帰休で雇用危機を煽るJR東海ユニオンは会社の代弁者である。さらに一時帰休を5日前に勤務に変更するのは問題である。2021 JR総連春闘を統一闘争として闘う」と挨拶。



来賓として本部森下業務部長から春闘を取り巻く情勢を中心とした連帯の挨拶を受けました。

質疑では、地区分会からは、東京駅での職場問題、車両所分会からは、診断書強要中労委の取り組み、職場の業務の問題、春闘の取り組み、運輸所分会からは、リニア建設は中止しかない、コロナワクチン接種について、シーツ交



換の問題、一時帰休について、などの発言がありました。

これらの発言に対して、淵上JR総連法対・調査部長から感想をいただき、執行部および伊藤書記長の総括答弁で答え、当面する活動方針を満場一致で確認し、杉澤委員長の団結ガンバロウ三唱で委員会は成功裏に終了しました。

